

管理番号	E-16
タイトル(英語)	Adolescents who attempt suicide
タイトル(日本語)	
研究者	Rohn R D, Sarias R M, Kenny T J, Reynolds B J, Heald F P
所属機関	University of Maryland school of medicine
言語	英語
雑誌情報	Journal of pediatrics, 90(4), 636-8
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	t検定
対象観察期間	1973-1974
対象サンプル数	65
サンプルの国種 (対象地域)	アメリカ(メリーランド州)
対象領域	医療
目的	10代のための自殺予防プログラムが確立され、最初の2年間の実施データのレビューに着手する。
結果・内容・提言	65人の自殺企図青年のグループがその機関に特定された。年齢の中央値は16歳で、75%が少女であった。経口摂取が自殺企図の有力な手段であった。彼らの主な特徴は、長期間の家庭崩壊、社会的孤立、学業困難であった。25名のサブグループが心理検査を受けた。前測群と比較して、自殺被害を被った青年は微細な認知検査の割合が有意に高かった。
キーワード	

管理番号	E-17
タイトル(英語)	Crisis intervention: A review of outcome research
タイトル(日本語)	
研究者	Auerbach S M, Kilmann P R
所属機関	Virginia commonwealth university
言語	英語
雑誌情報	Psychological Bulletin, 84(6), 1189-1217
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国種 (対象地域)	
対象領域	地域/医療
目的	
結果・内容・提言	精神医学的背景において、危機介入研究は自殺予防、危機介入プログラムを通じ、それにより手術患者の評定が行われる。アウトカムの評価やクライアントの行動に対する危機介入者の行動から評価の重荷が改善する必要性のようにより、自発的実行不可能な事柄の最初の分野として、強化する測定法が強調される。また、地域社会に対する総合的なプロセスがあげられる。精神医学的背景における研究では、明確な結論づけの禁止など考慮すべき方法論の不足がある。研究には、いつでも使用できるようになっている指定された治療内容が大いに必要とされる。手術患者による研究は、ストレス対処の典型的な方法が異なる個人に列してもっとも適切な介入技術の開発の必要性を示す。すべての背景において、アウトカムの測定は状況に適切であるべきであり、論理的に介入目標に関連しているべきである。
キーワード	

管理番号	E-26
タイトル(英語)	The predictive validation of a suicide intent scale: A five year follow-up
タイトル(日本語)	
研究者	Pierce D W
所属機関	East Glamorgan general hospital
言語	英語
雑誌情報	British Journal of Psychiatry. 139, 391-396
論文種類	
研究デザイン	prospective cohort study
統計手段	t検定
対象観察期間	1973-1979
対象サンプル数	500
サンプルの国籍 (対象地域)	イギリス
対象領域	医療
目的	
結果・内容・提言	自傷行為を起こした500人の患者に、自殺念慮スケールに回答してもらい、5年間のフォローアップを行った。7例が明らかに自殺を起こし、6例は自殺を起したことが疑われた。後の自殺は最初の自傷行為のエピソードに対して高得点を示す傾向があり、自殺前の最後の2番目の自傷行為に対して高い得点を示した。予見カッションでは、少数の自殺を確認し、自殺の予測のためのスケールとしての有用性を述べた。非常にリスクの高い患者のグループがスケールを繰り返し使用することで特定され、自殺予防プログラムの一部としてスケールが使用されるであろうと提案した。
キーワード	

管理番号	E-18
タイトル(英語)	Genetic factors in suicide
タイトル(日本語)	
研究者	Tsuang M T
所属機関	Department of psychiatry, university of Iowa college of medicine, psychiatric hospital
言語	英語
雑誌情報	Diseases of the Nervous System. 38(7). 498-501
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	
対象領域	医療
目的	
結果・内容・提言	同じ家族メンバーの中に自殺を起こしやすいやすいような遺伝的要因があるならば、特定する事が重要である。双生児研究を転換すると、自殺には遺伝的要因があると思われ、自殺を引き起こしやすいやすい精神疾患に遺伝的要因があるためである。躁うつ病、統合失調症、アルコール依存症に苦しむ者や家族に自殺者がいる者には特に注意が必要である。
キーワード	

管理番号	E-33
タイトル(英語)	Epidemiology of suicide in a Swedish county (Vasterbotten) 1961-1980
タイトル(日本語)	
研究者	Jacobsson L, Renberg E
所属機関	Department of psychiatry, university of umea
言語	英語
雑誌情報	Acta psychiatrica Scandinavia, 74(5), 459-68
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1961-1980
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	スウェーデン
対象領域	地域
目的	スウェーデン北部における自殺予防プログラム展開の初期段階として、1961年から1980年に起きたVasterbotten地方の全自殺例について疫学研究を行う。
結果・内容・提言	本研究においても他の研究で差異が認められた都市部外型と田舎伝播型が確認された。1970年代の自殺率の著しい増加が社会経済的地域差の展開ともに見られた。現在、高自殺率は、人口の散在する西部山岳地方で発展している都市部において見られた。
キーワード	Suicide, epidemiology, suicide prevention

管理番号	E-34
タイトル(英語)	Telephone helplines at a suicide site
タイトル(日本語)	
研究者	Glatt K M, Sherwood D W Amisson T J
所属機関	Duchess country commissioner of mental hygiene
言語	英語
雑誌情報	Hospital & Community Psychiatry, 37(2), 178-180
論文種類	Brief report
研究デザイン	Intervention study
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ(ニューヨーク州)
対象領域	地域
目的	
結果・内容・提言	自殺リスクの高いバドノン川中流部の橋における自殺を減らすために、24時間いつでも精神衛生部門につながる電話を設置した。1年間で10回使用された。うち9例は旅行前に医療機関へと運ばれた。1例は川に飛び込んでしまったものの、助けられ医療機関へと運ばれた。他に4例自殺が起きたが、いずれも電話を利用してはいなかった。
キーワード	

管理番号	E-39
タイトル(英語)	College student suicide in the United States: Incidence data and prospects for demonstrating the efficacy of preventative programs
タイトル(日本語)	
研究者	Schwartz A. J., Reifler C. B.
所属機関	Mental health section, university health service, university of Rochester
言語	英語
雑誌情報	Journal of American College Health, 37(2), 53-59
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国・地域(対象地域)	アメリカ
対象領域	学校(大学)
目的	アメリカの大学生の自殺に関する疫学レポートは1928年から現られ、一つの団体からのレポートが7件、複数の団体からのレポートが2件ある。これらのデータを比較する。
結果・内容・提言	自殺率に影響を及ぼすことで知られる人口統計学的変数(性別、年齢)を説明するために相率を計算した。標準死亡率(SMR)はこれらの要因を考慮するために確立された技術である。大学生の自殺に際して発表されたレポートでは、SMRは加工されており、一つの団体では高められていた。集められたSMRは97であり、年齢と性別をマッチングさせた統計と比べて類似した自殺率を示した。複数の団体のデータでは、SMRは一貫して100以下であった。起こりにくい出来事(統計から大学生の自殺率の自覚率の両面によるデータ)は、原因や自殺予防プログラムの影響を直接評価することは、事実上不可能である。身体的・情緒的健康による離脱は自殺頻度を著しく高める。大学生の自殺に影響を及ぼす要因をより適切に評価するためには、複数の団体の共同による研究や自殺と関連した頻度の高い環境的・社会的な分析により可能となる。
キーワード	

管理番号	E-35
タイトル(英語)	A suicide prevention program for Hopi youth
タイトル(日本語)	
研究者	Levy J. E., Kunitz S. J.
所属機関	Department of anthropology, the university of Arizona
言語	英語
雑誌情報	Social Science & Medicine, 25(8), 931-40
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1956-1985
対象サンプル数	
サンプルの国・地域(対象地域)	アメリカ(アリゾナ州)
対象領域	地域
目的	近年、ホピ族の自殺率が上昇し、特に10代の青年において増えている。ホピ族の自殺に関して30年間のレビューを行う。
結果・内容・提言	次のようなことが明らかとなった。①自殺率が上昇している可能性もあるが、ほぼ一定である。②15歳から34歳における高自殺率は近年に限った現象ではない。③自殺やアルコール濫用のリスクを持つものは、種族や地域における異なる意向士による伝統的に認められない結婚をした両親の子どもである。逸脱者とされた両親により、地域社会はその子孫も逸脱者としてしまう。特に悩みを抱えた青年に対して計画をすることが、自殺予防プログラム成功の鍵ではない。文化変容や伝統的文化により起きている問題に結びつけるものでもない。
キーワード	Mental health, American Indians, suicide

管理番号	E-40
タイトル(英語)	Failure of suicide prevention measures at Risley
タイトル(日本語)	
研究者	Martin E
所属機関	Bedford prison
言語	英語
雑誌情報	BMJ: British Medical Journal, 297(6646), 483
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	
対象領域	留置所
目的	
結果・内容・提言	Risley 拘留所では、自殺リスクのアセスメントも自殺をしそうな人々の確認や対応などの予防措置がなく、不十分であると思われる。一方で、Bedford では、囚人に対して自殺のリスク評価が行われていることが紹介されているが、看守が職務として評価フォームに記入するようにならないか心配である。
キーワード	

管理番号	E-42
タイトル(英語)	Monitoring and managing the suicidal prisoner
タイトル(日本語)	
研究者	Rakis J, Monroe R
所属機関	John F. Kennedy school of government at Harvard university
言語	英語
雑誌情報	Psychiatr Q. 60(2), 151-60
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	
対象領域	留置所
目的	
結果・内容・提言	囚人は自殺リスクが高いと判断されたならば、矯正施設や健康管理部门が収容者の安全を保障すべく適切な行動を起こすべきである。すべての自殺が予防できるわけではないが、悩んでいる収容者を慣れ親しい方法で保護するような環境をつくることで、囚人の自殺リスクを有意に減少させることが可能である。矯正施設や健康管理部门のスタッフは、自殺を起しそうな囚人を保護し、危機状態から回復させるための様々な方法を実施できるように準備すべきである。
キーワード	

管理番号	E-51
タイトル(英語)	Prevention of suicide.
タイトル(日本語)	
研究者	McNamee J. E., Oford D. R.
所属機関	Department of psychiatry, McMaster university
言語	英語
書籍情報	CMAJ. 142(11). 1223-30
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1950-1986
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	カナダ
対象領域	地域
目的	カナダの自殺の疫学的特長をレビューし、自殺予防プログラムを評価する。
キーワード	70歳以上の男性、65歳から69歳の女性、20歳から24歳の男性において自殺リスクが上昇していた。自殺企図のあった精神疾患患者、生命危険に陥る患者、原住民、家族に自殺者や凶人のいる者の自殺は減少していた。自殺予防プログラムは自殺の発生を有意に減少させてはいなかったが、方法論的に不適切なことや統計的有意でないことが明らかとなった。プライマリ医がハイリスクグループの自殺リスクを定期的に評価し、カウンセリングやフォローアップ、必要であれば精神科医への紹介も介入に含める。

管理番号	E-49
タイトル(英語)	Comprehensive school suicide prevention programs
タイトル(日本語)	
研究者	Tierney R., Ramsay R., Tanney B.
所属機関	Mount royal college
言語	英語
書籍情報	Death Studies. 14(4). 347-370
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	
対象領域	学校
目的	学校組織による自殺への反応と、総合的な自殺予防プログラムの提案を行う。
キーワード	プログラムはプリベンション、インターベンション、ポストベンションから構成されるべきである。プリベンションは、問題の発症を抑制したり、予防したりする努力である。インターベンションは、より深刻にならないように初期の段階において問題のレベルや複雑性を低減させるものである。ポストベンションは、事後の対応や更生のためのものである。このような視野や内容が必要となるのは学校でプログラムを実施する際のみでなく、全組織に及ぶ方針、資源、職員、職員の訓練、評価、フォローアップの実施においても同様である。

管理番号	E-52
タイトル(英語)	Sex differences and their relevance to primary prevention of adolescent suicide.
タイトル(日本語)	
研究者	Overholser J, Evans S, Spirito A
所属機関	Case western reserve university
言語	英語
書誌情報	Death Studies, 14(4), 391-402
論文種類	
研究デザイン	Review
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	アメリカ
対象領域	学校
目的	
結果・内容・提言	自殺には性差がある。初発期は異なるが、女性よりも男性が自殺は多く、自殺未遂は女性に多い。自殺予防プログラムに対する反応も異なる。女学生は、自殺予防カリキュラムの紹介前に一貫して高い知識と態度、行動を示し、カリキュラムからより多くのものを得ている。したがって、①男性と比べて女性は自殺やそのマネジメントに対して敏感である。②男性に対しては一般的な自殺予防プログラムとは異なるものが必要である。
キーワード	

管理番号	E-59
タイトル(英語)	Experimental and pragmatic approaches to the incidence of adolescent suicide.
タイトル(日本語)	
研究者	Kalafatis J, Neighier W D
所属機関	St. Clares-Riverside medical center
言語	英語
書誌情報	Evaluation and Program Planning, 14(4), 377-383
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	
対象領域	学校
目的	
結果・内容・提言	1960年代以降、青年の自殺例が高い割合で増えている。これを受け、実験的事例と現実的事例に関与している社会科学者たちは、これらの現象と学校における自殺予防や自殺反応プログラムの発展などのプロセスを研究している。青年の自殺研究における実験的アプローチと現実的アプローチの対比や葛藤も含め、一般的な問題をレビューする。また、実験的立場と現実的立場の共同により実施した学校における自殺教育プログラムの事例報告も行う。
キーワード	

管理番号	E-70
タイトル(英語)	Adolescent suicide prevention. Current research and social policy implications.
タイトル(日本語)	
研究者	Garland A F, Ziegler E
所属機関	Department of psychology, Yale university
言語	英語
雑誌情報	American psychologist, 48(2), 169-82
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ
対象領域	地域
目的	過去数十年間において青年の自殺が劇的に増加しており、様々な介入が行われている。不幸にも、研究者と介入者のコミュニケーションが不確切であることから、多くの介入が有効となっていない。特定の関心から人気のあるカリキュラムに基づいた自殺予防プログラムが追加しているが、それらは有効性が確認されておらず、有害な内容を含む可能性もあるだろう。青年の自殺に関する現在の疫学研究をレビューし、青年の自殺率を減らすために有効な知識を示す。
結果・内容・提言	青年の自殺率を減らすためには次のことが必要。①専門家に対する自殺予防教育、②小銃器管理に関する教育と方針、③青年の自殺に関する報道機関への教育、④リスクのある青年の確認と対応
キーワード	

管理番号	E-65
タイトル(英語)	State initiatives in addressing youth suicide: evidence for their effectiveness.
タイトル(日本語)	
研究者	Lester D
所属機関	Center for study of suicide, Blackwood
言語	英語
雑誌情報	Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol, 27(2), 75-7
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1975-1987
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ
対象領域	地域/学校
目的	行政主導による青年の自殺予防と学校における自殺予防プログラムが青年の自殺率に及ぼす影響を検討する。
結果・内容・提言	1980年から1987年の調査から、行政の主導はアメリカにおける10代の自殺率に列して有意な関連がみられた。しかし、学校における自殺予防プログラムに参加した学生は、自殺率への好ましくない効果と関連が見られた。
キーワード	

管理番号	E-72
タイトル(英語)	Suicide prevention: a classroom presentation to adolescents.
タイトル(日本語)	
研究者	Ciffone J
所属機関	Larkin High school
言語	英語
雑誌情報	Soc Work. 38(2). 197-203
論文種類	
研究デザイン	Intervention study
統計手段	ロジスティック回帰
対象観察期間	
対象サンプル数	324
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ(シカゴ)
対象領域	学校(高校)
目的	青年の自殺増加は、アメリカ中に学校における自殺予防プログラムの有効性を統計的に分析し、提示する。
結果・内容・提言	プログラムでは、自殺未遂事例と自殺既遂事例に関する短いビデオを視聴させたあとに、ディスカッションを実施した。ベースライン時に自殺に対して望ましくない態度を示した者において、プログラムの実施後には、望ましい態度への有意な改善が見られた。また、自殺に関連している精神疾患の自己開示は減少することが一般的には思われがちであるが、このような考えを払拭させたように思われた。
キーワード	

管理番号	E-74
タイトル(英語)	The relationship of bystander intervention variables to adolescents' responses to suicidal peers.
タイトル(日本語)	
研究者	Kaloupek J, Elias M, Gara MA
所属機関	Department of psychology, Spalding university
言語	英語
雑誌情報	Journal of Primary Prevention, 13(4), 231-244
論文種類	
研究デザイン	randomized controlled trial
統計手段	カイ二乗
対象観察期間	
対象サンプル数	314
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ
対象領域	学校(高校)
目的	自殺予防プログラムを高めるような要因を理解するために、社会心理学的研究から示された変数が類似した環境にある自殺の可能性のある仲間への青年の対応を調査する。
結果・内容・提言	問題をかかえた仲間に対して責任の程度の変化する状況下(一人で対応する場合とグループの一人として対応する場合)、あいまいさの異なる状況下(問題をかかえた仲間と直面している場合と仲間のエッセイを読む場合)の4条件に、314名の高校生をランダムに割り当てた。自殺の可能性と状況に対する関心のレベルを調べた。男女ともにあいまいさの主効果が、男性において責任の程度の主効果が見られた。他者がどの程度対応するかを予測させた結果は社会心理学の結果と一致し、問題をかかえた仲間が無視されている者ならば対応しないという間違った社会的規範の作用が提示された。青年の自殺行動の予防において、青年の役割を強化するために社会心理学的モデルを適用させることの重要性が示された。
キーワード	Adolescents suicidal peers

管理番号	E-78
タイトル(英語)	National suicide prevention programme and railway suicide.
タイトル(日本語)	
研究者	Beskow, J Thorson, J Ostrom, M
所属機関	Department of psychiatry, Sahlgren hospital
言語	英語
書籍情報	Social Science & Medicine, 38(3), 447-451
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	294
サンプルの国籍(対象地域)	スウェーデン
対象領域	地域
目的	自殺は精神疾患や虐待、暴力、事故等の問題と関連した公衆衛生学的問題である。鉄道自殺の予防によるアプローチを示す。疾病予防の原理を利用した自殺予防における理論的枠組みを簡単に説明する。
結果・内容・提言	1974年、1980年、1986年、1987年の自殺に関するデータをICD-9により分類し、道路上と軌道上における未確認の死者294例を分析した。さらに検屍、警察、病院からデータを収集し、機関車の運転手にインタビューを行った。78%の事例が軌道上におけるものであり、平均年齢は42歳であった。27%の事例がアルコール問題を、36%の事例が薬物問題を、57%の事例が深刻な精神疾患を有していた。衝突の種類と疾病の特徴の関連を議論した。機関車の前面のデザインの変化などの環境的変化が鉄道自殺や事故を減らす方法として提案された。
キーワード	Suicide, accident, railway, suicide prevention

管理番号	E-77
タイトル(英語)	Comprehensive and systematic school-based suicide prevention programs: A checklist for counselors.
タイトル(日本語)	
研究者	Malley P B, Kush F
所属機関	University of Pittsburgh
言語	英語
書籍情報	School Counselor, 41(3), 191-194
論文種類	Peer-Reviewed
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ
対象領域	学校
目的	学校における自殺プログラム(SBSPs)に関する文献をレビューし、カウンセラーが実施しているプログラム評価のためのチェックリストを作成するために主な内容を確認する。
結果・内容・提言	①改善が必要な分野の決定、②職員会議においてチェックリストの結果を提示、③学校経営者と地域社会の関心を知る、④最新のプログラムの情報を得る、⑤自殺予防の専門家と電話で直接連絡を取れるように関係構築、⑥カウンセラーの役割を地域社会と共同にも展開。
キーワード	School counseling, student personnel services, suicide prevention

管理番号	E-81
タイトル(英語)	Programs for the prevention of suicide among adolescents and young adults.
タイトル(日本語)	
研究者	O'Garroll P W, Potter L B, Mercy J A
所属機関	Office of the director office of program support
言語	英語
雑誌情報	MMWR Recomm Rep. 43(RR-6), 1-7
論文種類	Recommendations and reports
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	アメリカ
対象領域	
目的	
結果・内容・提言	15歳から24歳の青年における自殺および自殺未遂率は高い数値を維持している。1992年に、地産社会におけるこれらの年齢層を対象とした自殺予防プログラムの補足や発展のために、CDC's National center for Injury Prevention and Controlが青年の自殺予防プログラムを構築した。プログラムでは、根本的原理と8種の自殺予防手段の有効性の証拠が示され、これらの手段を統合したモデルプログラムが明示された。このプログラムの要約を示している。
キーワード	

管理番号	E-82
タイトル(英語)	Status of suicide prevention in California schools.
タイトル(日本語)	
研究者	Sandoval J, London M D, Rey T
所属機関	University of California
言語	英語
雑誌情報	Death Studies. 18(6), 595-608
論文種類	
研究デザイン	cross-sectional study
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	41学区
サンプルの国籍 (対象地域)	アメリカ
対象領域	学校(高校)
目的	
結果・内容・提言	公立学校における自殺予防プログラムが維持されている。その有効性については確かな証拠がないにもかかわらず、プログラムは増加している。自殺予防プログラムの提案が求められた学区内で電話によるインタビューを行った研究から得られた知見と要因が述べたにもかかわらず申し出のなかつた学区における調査が報告された。その結果、しばしば主張されるような総合的ではない自殺予防プログラムが提案された。
キーワード	

管理番号	E-164
タイトル(英語)	A comparison of child-sex-abuse-related and mental-disorder-related suicide in a six-year cohort of regional suicides: The importance of the child protection-psychiatric interface.
タイトル(日本語)	
研究者	Pritchard C, King E
所属機関	Department of mental health, school of medicine, Southampton university
言語	英語
雑誌情報	British Journal of Social Work, 34(2), 181-198
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	カイ二乗
対象観察期間	1988-1993
対象サンプル数	1017
サンプルの国籍(対象地域)	イギリス
対象領域	地域
目的	6年間にわたる検視官の全審問ファイル(1017例)の検討を通して、精神疾患に関する自殺と幼児性的虐待に関する自殺を比較する。
結果・内容・提言	人口調査結果、精神科の事例記録、警察報告を用いて、精神疾患と幼児性的虐待の潜在的な人口を計算した。幼児性的虐待に関する自殺率は一般人口における自殺率に対して、男性が2.2倍、女性が2.5倍であった。幼児性的虐待の犠牲者の全女性と男性の80%が精神疾患を有していたが、犯行者に精神疾患患者はいなかった。精神疾患に関する自殺率は幼児性的虐待に関する自殺率の3倍以上であった。一般人口における自殺率に比べて、幼児性的虐待の犠牲者の自殺率は2.5倍、家庭内犯行者は70倍であった。児童保護に関する精神的虐待の重要性に焦点を当てても、複雑な分野を簡単に説明することの無益さが示された。
キーワード	

管理番号	E-128
タイトル(英語)	Adolescent victimization and associated suicidal and violent behaviors.
タイトル(日本語)	
研究者	Cleary S D
所属機関	George Washington university medical center, school of public health and health services
言語	英語
雑誌情報	Adolescence, 35(140), 671-82
論文種類	
研究デザイン	cross-sectional study
統計手段	カイ二乗、ロジスティック回帰分析
対象観察期間	
対象サンプル数	1589
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ(ニューヨーク)
対象領域	学校(高校)
目的	ニューヨークの公立高校生1589名を対象として、差別と自殺・暴力行為との関連を検討する。
結果・内容・提言	彼らが参加した1997年の青年危険行動調査の結果に基づき、自殺・暴力行為の有無により4群に分類した。女性に比べて男性は有意に差別が多く、自殺行為が多く、暴力行為が多かった。ロジスティック回帰分析では、男女ともに差別のないものに対して差別されたことのある者において自殺・暴力行為の全カテゴリーの頻度が高かった。差別経験のある男性は差別経験のある女性の犠牲者を同定し対応すること、自殺予防プログラムと学校における暴力を減らすための介入において必要不可欠な構成要素である。
キーワード	

管理番号	E-166
タイトル(英語)	An outcome evaluation of the SOS Suicide Prevention Program.
タイトル(日本語)	
研究者	Aseltine R H Jr, DeMartino R
所属機関	Department of behavioral sciences and community health, university of Connecticut health center
言語	英語
雑誌情報	Am J Public Health., 94(3), 446-51
論文種類	
研究デザイン	randomized controlled trial/ Intervention study
統計手段	多変量解析
対象観察期間	
対象サンプル数	2100
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ/イギリス
対象領域	学校(高校)
目的	SOSプログラムが自殺行動の減少に有効であるかを検討。
結果・内容・提言	コロンブスとハートフォードの5つの高校における2100名の学生を対象とした。ランダムに介入群と制御群にわけ、SOSプログラムを実施。プログラムの内容は、①抑うつ・自殺のサイン、抑うつ・自殺傾向のある者への対応に関するビデオを視聴、議論をする②質問紙による抑うつつのスクリーニングである。プログラム実施3か月後では、介入群において、自殺企図率が有意に減少、抑うつ・自殺に関する知識が増加した。また、抑うつ・自殺に対する態度が寛容し、より適応的になった。知識や態度のわずかな変化はプログラムの有効性を示している。SOSプログラムは学校における自殺予防プログラムの第一歩である。
キーワード	

管理番号	E-167
タイトル(英語)	Community-Based Suicide Prevention Program in Japan Using a Health Promotion Approach
タイトル(日本語)	
研究者	Motohashi Y, Kaneko Y, Sasaki H
所属機関	Department of mental health, Akita university school of medicine
言語	英語
雑誌情報	Environmental Health and Preventive Medicine, 9(1), 3-8
論文種類	Review article
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本(秋田)
対象領域	地域
目的	先進諸国の国家レベルの自殺予防プログラムを簡単にレビューし、秋田県における地域社会における自殺予防プログラムの概略を示す。
結果・内容・提言	自殺予防プログラムは1980年代に西洋で開発された。1986年にはじめられたフィンランドが有名な例である。西洋の国家レベルの自殺予防プログラムは包括的で多様である点が共通している。一次的、2次的、3次的介入という分類が典型的政策である。秋田県におけるプログラムでは、自殺予防の意識向上、精神保健相談の機会の増加、抑うつ1次的・2次的予防の促進、精神保健促進のための実践的な環境の作成、の4点を行った。
キーワード	Suicide prevention, community, health promotion, policy, Japan

管理番号	E-170
タイトル(英語)	Suicide prevention: a vital national public health issue.
タイトル(日本語)	
研究者	D'Orio B, Garlow S J
所属機関	Emory university school of medicine
言語	英語
雑誌情報	J Health Hum Serv Adm. 2004 Fall;27(2):123-41. . 27(2). 123-41
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国種(対象地域)	アメリカ
対象領域	地域
目的	
結果・内容・提言	アメリカにおける自殺は年間3万件であり、主要な公衆衛生問題である。10万人当たり10-12をさまよう自殺率は、過去30年間変化していないままである。1999年に医療監督が包括的な国家自殺予防方針の導きに向けたロードマップを提言した。国家職員の明確な構成要素を定義するためにこのプランの特徴はAIM(気づき、介入、方法論)に要約された。これは、精神疾患と自殺問題への市民の気づきを増加させ、治療や予防資源へのアクセスを増加させ、研究方法論の改善を図ることについて述べている。自殺例は少なく、介入や予防戦略について研究することは非常に困難である。意味ある結果のアセスメントのためには非常にたくさんサンプルが必要である。自殺予防と予防研究は明確な公衆健康リスクや医学的領域よりも公衆資源から得るものが少ない。このような理由から、包括的な国民公衆衛生に基づく自殺予防プログラムが必要である。
キーワード	

管理番号	E-171
タイトル(英語)	Suicide surveillance in the U.S. Military—reporting and classification biases in rate calculations.
タイトル(日本語)	
研究者	Carr J R, Hoge C W, Gardner J, Potter R
所属機関	Department of psychiatry and behavioral sciences, Walter reed army institute of research
言語	英語
雑誌情報	Suicide and Life-Threatening Behavior. 34(3). 233-41
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1998-1999
対象サンプル数	1604
サンプルの国種(対象地域)	アメリカ
対象領域	職域
目的	軍隊は一般市民の自殺予防活動の実行可能なモデルとして認識される自殺予防プログラム明確な集団である。予防プログラムの検討には、正確な報告が必要である。一般市民においては、いくつかの研究から自殺の報告と分類における問題が確認されている。この分析では、自殺が過少に報告されていないが、軍隊システムにおける事故や死因が未確認であると誤分類されていないかを評価した。
結果・内容・提言	公式な死亡報告を用いて1998年から1999年の全軍人の死をレビューし、DoD医学的死亡率報告のデータと比較した。事故、運搬の過剰投与、墜死、落下、突刺により事故や死因が未確認とされた事例に関して、発明された自殺原因の証人と精神医学的既往を調査した。公式報告よりも7%多く自殺が報告され、さらに4%が自殺の疑いがあった。軍人の自殺における報告と分類のエラーから、実際には21%多いと思われる。これらの発見は一般市民を対象とした研究の異なる割合と比較可能であり、医学的検査を目的とした行政上の死亡分類データの使用に内在する問題に関する文庫を追加した。
キーワード	

管理番号	E-173
タイトル(英語)	Comparison of the effects of four suicide prevention programs for family and friends of high-risk suicidal men who do not seek help themselves.
タイトル(日本語)	
研究者	Mishara B. L. Houle J. Lavoie B
所属機関	Center for research and intervention on suicide and euthanasia
言語	英語
雑誌情報	Suicide and Life-Threatening Behavior, 35(3), 329-42
論文種類	
研究デザイン	randomized controlled trial/ Intervention study
統計手段	ANOVA
対象観察期間	
対象サンプル数	131
サンプルの国籍(対象地域)	カナダ(モントリオール)
対象領域	地域
目的	
結果・内容・提言	ハリスクと思われ、自殺予防センターに電話をかけてきた男性の家族や友人をランダムに4つのプログラム(自殺に関する教育、自殺に関する教育+電話によるフォローアップ、精神保健と虐待のプログラムへの迅速な紹介、電話による支援)のうちの一つに招待した。プレテストと2か月後のポストテスト、6か月後のフォローアップ時のデータの比較から、ハリスクの者の自殺念慮、自殺企図、抑うつ症状の有意な減少が認められた。家族や友人はよりポジティブなコメントを用いることで、心理的負担が減少し、自殺リスクのある男性に対しにより助けとなるコミュニケーションをとることが報告された。電話によるサポートは最も有益なプログラムと考えられる。
キーワード	

管理番号	E-172
タイトル(英語)	Where is help sought for depression or suicidal ideation in an elderly population living in a rural area of Japan?
タイトル(日本語)	
研究者	Sakamoto S, Tanaka E, Neichi K
所属機関	Department of psychology, Nihon university
言語	英語
雑誌情報	Psychiatry and Clinical Neurosciences, 58(5), 522-530
論文種類	Regular Article
研究デザイン	cross-sectional study
統計手段	ロジスティック回帰分析
対象観察期間	
対象サンプル数	230
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	地域
目的	日本において特に老人の自殺が社会的問題として増加しており、初期介入や自殺予防がわが国で行われている。1999年から始められたプロジェクトは、自殺率の高いモデル地域を対象とした自殺予防対策としてうつ病の早期発見を目的としている。したがって、本研究では短い場面を用いて援助希求行動を調査した。
結果・内容・提言	65歳以上の230名を対象とした。身体的問題から本人が回答不可能である場合、公衆衛生看護師が項目を読み上げ、回答を記入した。援助希求行動と人口統計学的変数、心理社会的変数、抑うつ症状、の関連を調べた。精神保健のワークショップが専門家へ相談を促進されることが示された。一般市民や専門家による心理教育に期待された効果について考察した。
キーワード	Depression, elderly people, help-seeking, prevention, suicide

管理番号	E-174
タイトル(英語)	Evaluating a suicide prevention program: a question of impact.
タイトル(日本語)	
研究者	Kaleveld L. English B
所属機関	Institute for the service professions, Edith Cowan university
言語	英語
書誌情報	Health Promot J Austr. 16(2). 129-33
論文種類	Research and methods
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	
対象領域	地域
目的	地域における訓練者の支援計画として知られる自殺予防プログラムの目的の評価を探索。
結果・内容・提言	自殺リスクのある個人と接触する場所で適切に介入するための専門家を訓練することがこのプログラムの目的である。評価方法として、完全な目標達成のためにはどのようなプログラムがよいかを決定するための評価の臨時的役割について議論したが、自殺予防プログラムの実施には制限がある。自殺予防プログラムにおいて、プログラム活動の効果に關する性能の情報は定義したり、得ることが難しい。解散への注意や何名か生き延びているかというように測定のためである。改善の意見としては、階級に分けた一連の目標の観点からプログラムを定義することである。これにより、データから非現実的かつ未発見の結論を避ける事に役立つ。一連のレベルに細分化された性能の情報は、情報の信頼度により分類される。これは、活動と自殺予防 得られたプログラムの価値の信頼度の関連を示すことにも役立つ。
キーワード	Evaluation, suicide prevention, prevention programs, health care

管理番号	E-175
タイトル(英語)	Juvenile suicide in confinement in the United States results from a national survey.
タイトル(日本語)	
研究者	Hayes L M
所属機関	National center on institutions and alternatives, Mansfield
言語	英語
書誌情報	Crisis: The Journal of Crisis Intervention and Suicide Prevention. 26(3). 146-8
論文種類	Short report
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	
対象観察期間	1995-1999
対象サンプル数	110
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ
対象領域	地域
目的	
結果・内容・提言	アメリカにおいて監禁された少年少女の自殺に關する国家的研究が少年少女の自殺の程度と分布を決定する人口統計学的特徴、事柄の特徴、少年少女の自殺の認めやすさの特徴を収集した。死亡の場所や時間の範囲に關して有意義な知見が得られ、死亡の認めやすさにおける自殺予防対策の妥当性が示された。
キーワード	Room confinement, training, suicide prevention policy component

管理番号	E-177
タイトル(英語)	Studying suicide from the life course perspective: Implications for prevention.
タイトル(日本語)	
研究者	Gunnell D, Lewis G
所属機関	Department of social medicine, university of Bristol
言語	英語
雑誌情報	British Journal of Psychiatry, 187(3), 206-208
論文種類	Editorial
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	
対象領域	医療/地域
目的	
結果・内容・提言	環境的・遺伝的要因が一生に及ぼす個人の自殺リスクに影響を及ぼす。リスクは精神疾患や衝動的行動のみならず、文化的な自殺の容認度、自殺抑止手段の入手しやすさ、危機における援助希求行動、自傷行為の有効な治療への後援に影響を受ける。自殺予防プログラムは、2つの領域に焦点を当てると効果的であろう。自殺前の精神疾患の予防、メディアの影響力、援助希求、自傷行為への医学的対応と手段の有効性のよ うな自殺に対する危険因子への取り組みである。
キーワード	

管理番号	E-176
タイトル(英語)	Preventing suicidal behaviour in a general hospital psychiatric service: priorities for programming.
タイトル(日本語)	
研究者	Links P S, Hoffman B
所属機関	Department of psychiatry, Faculty of medicine, university of Toronto
言語	英語
雑誌情報	Can J Psychiatry, 50(8), 480-6
論文種類	Review paper
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍 (対象地域)	
対象領域	医療
目的	一般病院の精神科医療サービスでは個人に向けた自殺予防プログラムの優先事項を提案し、イギリスにおける国家的自殺予防戦略に関するレビューを最新のものにする。
結果・内容・提言	Suicide prevention & controlを被索語とし、1994年から2004年に実施された英語の研究と臨床的旅行を検索した。82件の文献がヒットし、48件を除く、34件を二次的ケアにより分類した。自殺リスク予測のためのスクリーニングツールに関する文献はなく、個人の自殺行動に対する介入に関する文献が16件、精神疾患の治療に関する文献が14件、退院者に対する文献が2件、手段への接触減少に関する文献が2件であった。臨床的審査とギルバートの定期的な更新、自殺未遂者の査定に対するガイドラインの使用、退院24-48時間前における自殺リスクの査定、精神科医の日常的なケアに手段への接触減少に関する教育を組み合わせること、を含むいくつかのプログラムと方法の提案を行った。
キーワード	Suicide prevention, psychiatric services, suicidal behavior, discharge

管理番号	E-178
タイトル(英語)	Suicidal ideation and attempted suicide among women living with HIV/AIDS.
タイトル(日本語)	
研究者	Cooperman N A, Simoni J M
所属機関	Albert Einstein college of medicine
言語	英語
雑誌情報	J Behav Med. 2005 Apr;28(2):149-56. . 28(2). 149-56
論文種類	
研究デザイン	retrospective cohort study
統計手段	線形回帰・ロジスティック回帰分析
対象観察期間	
対象サンプル数	207
サンプルの国籍(対象地域)	アメリカ(ニューヨーク)
対象領域	医療
目的	普及率、タイムライン、自殺念慮や自殺未遂の予兆について、ニューヨークのHIV陽性の女性207名を対象に評価を行う。
結果・内容・提言	26%がHIVの診断後に自殺念慮を起こしていた。そのうち、42%が診断後1ヶ月以内に、27%が診断後1週間以内に実行していた。AIDS診断、精神的状態、身体的・性的虐待は、自殺念慮と自殺未遂の有意な予兆であった。予兆への反応、子供の存在、雇用されていることも有意な予兆であった。敬神は自殺念慮と自殺未遂の関連性があった。自殺予防対策をHIV陽性の女性に対して診断後すぐに行うことが重要である。特にAIDS診断を受けた者、精神的状態を看する者、虐待された者、子供のいる者、雇用者たちに介入すべきである。敬神の関わりを推奨することは自殺念慮をどまらせることができ、介入の可能な手段である。
キーワード	Suicide, HIV, AIDS, women

管理番号	E-179
タイトル(英語)	Suicide in developing countries (3): prevention efforts.
タイトル(日本語)	
研究者	Vijayakumar L, Pirkis J, Whiteford H
所属機関	SNEHA VHS
言語	英語
雑誌情報	Crisis: The Journal of Crisis Intervention and Suicide Prevention. 26(3). 120-4
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	スリランカ
対象領域	地域
目的	発展途上国における自殺予防への取り組みについて議論する。
結果・内容・提言	発展途上国では、優れた達成の資力があつたにもかかわらず、自殺予防への取り組みは制限されていた。様々な危険因子を対象とした介入が実施されてきた。十分な精神保健サービスのない中で、発展途上国では、地域社会の気づきの増加や回復力の強化、自殺者への危機介入にに対してはNGOが頼りである。しばしば、これらのNGOは社会的公衆衛生的格差のなかで活動し、地域社会のニーズに敏感な自殺予防プログラムと協働している。発展途上国における適切な実践的、効果的な国家的自殺予防計画の明確な必要性があり、スリランカにおいてのみ行われている。これらの計画では、優先順位の高い地域に焦点を当て、これらの地域においてプログラムの変化を達成するために必要な行動を明記し、実行に必要な協力を考慮し、国家的、地域的な取り組みを構築すべきである。また、自殺既遂、自殺未遂の正確なデータの収集と評価手段を育成させなければならない。
キーワード	Suicide, prevention, developing countries

管理番号	E-182
タイトル(英語)	Suicide Prevention Measures in China and the World
タイトル(日本語)	
研究者	Kawakami N
所属機関	
言語	英語
雑誌情報	秋田県公衆衛生学雑誌. 2 Suppl. 89-90 & 109-110
論文種類	
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	中国
対象領域	地域
目的	中国における自殺予防プログラムの紹介。
結果・内容・提言	2003年11月に北京で開催された「自殺予防のための国家戦略のためのワーキンググループ」において議論された自殺予防戦略は11の目標(心の健康、ストレス耐性、人のつながりを促進する;自殺予防のための様々な組織・体制を整備する、農業などの致死率の高い自殺手段へのアクセスを減らす;一般住民のスクリーニングを進める;精神科医療の利用率・質の向上など)を規定し、活動を推進しようとするものである。また一部の地域では一般医を対象とした自殺予防のための生涯教育も開始されている。将来的には、自殺研究・予防センターを中国全土に10箇所設置し、自殺予防プログラムの科学的効果評価を実施する計画もある。
キーワード	

管理番号	E-180
タイトル(英語)	Suicide in Japan: present condition and prevention measures.
タイトル(日本語)	
研究者	Yamashita S, Takizawa T, Sakamoto S
所属機関	National Institute of Population and Social Security Research
言語	英語
雑誌情報	Crisis: The Journal of Crisis Intervention and Suicide Prevention. 26(1). 12-9
論文種類	Research trends
研究デザイン	
統計手段	
対象観察期間	
対象サンプル数	
サンプルの国籍(対象地域)	日本
対象領域	地域
目的	日本における自殺予防対策と現在の状況を紹介する。
結果・内容・提言	199年代前半より自殺率は徐々に増加し、1998年に戦後最大となった。1998年以降、自殺者数は3万人を超えたままであり、55-59歳と老人男性において特に自殺率が高い。2002年には、自殺予防に向けての提言が示された。国家的自殺予防戦略は確立され始めたばかりであり、複数の地域・県で自殺予防対策が着手されている。
キーワード	Japan, present conditions of suicide, suicide prevention measures